

介護老人保健施設、在宅ケア事業所におけるBCP(事業継続計画)策定の試み

～災害などの緊急事態に事業の早期復旧、継続を図るために～

医療法人社団 幹人会

(法人本部事務課長) 夏海 啓

(法人本部統括部長) 大塚恵利子

(老健“ユニット菜の花”施設長) 日下部史郎

(老健“菜の花”施設長) 小室 勝利

(施設管理担当理事) 和田 省三

(法人統括常務理事) 玉木 千鶴

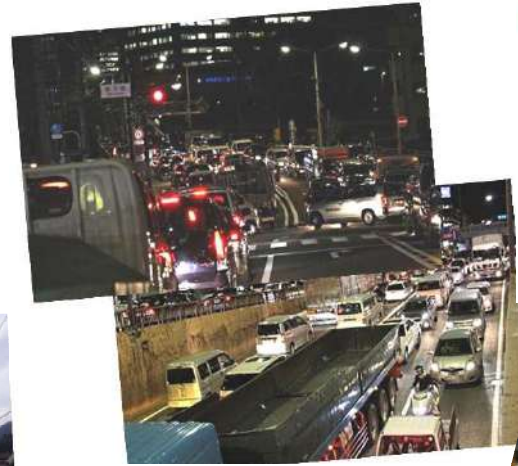
(理事長) 玉木 一弘

BCP(事業継続計画)とは？

- ▶ 大災害・パンデミック感染・大事故等々、事業の継続的提供を脅かす危機事案に備え、被害を最小限に抑え、必要な業務が継続できるように、事前に定めておく計画のことです。

2011.3.11(金)

被災地から離れた東京都内でも交通・物流・通信の途絶、計画停電、ガソリン・食材・医薬品衛生材料の不足等が同時多発的に発生、医療福祉分野でも事業の継続に深刻な影響が生じた。



交通・物流網は麻痺...



携帯電話等の通信も途絶...



多くの帰宅困難者が生じた

たとえ短期間のサービス休止でも、高齢要介護療養者の生活と生命が脅やかされることが実感された




私達の施設では

- ▶ 出入り口の開放
- ▶ 利用者の状況を確認
- ▶ 法人内各事業所に安否確認
- ▶ 通勤困難職員は施設に宿泊
- ▶ 送迎車両のガソリン不足のため、一部事業所の通所リハ営業を中止
- ▶ 供給可能なガソリンスタンドへ並ぶ
- ▶ 計画停電への対応
- ▶ 食事メニューの変更
- ▶ バケツに水の汲み置き



方法

- 1) BCPの達成目標の設定
 - 2) BIA(業務影響度)分析の実施
 - 3) 事業継続の優先順位の設定
 - 4) 初動対応、普段から備える事項の明確化
- 

1) BCPの達成目標の設定 私たちの場合

BCP策定・運用の目標

- ①療養者が安全に、適切な療養を継続することができる。
- ②職員の安全と職業を守り、医療・介護の担い手として、地域における社会的役割を果たす。
- ③地域の医療・介護拠点施設として、社会的役割を果たし続けることができる。

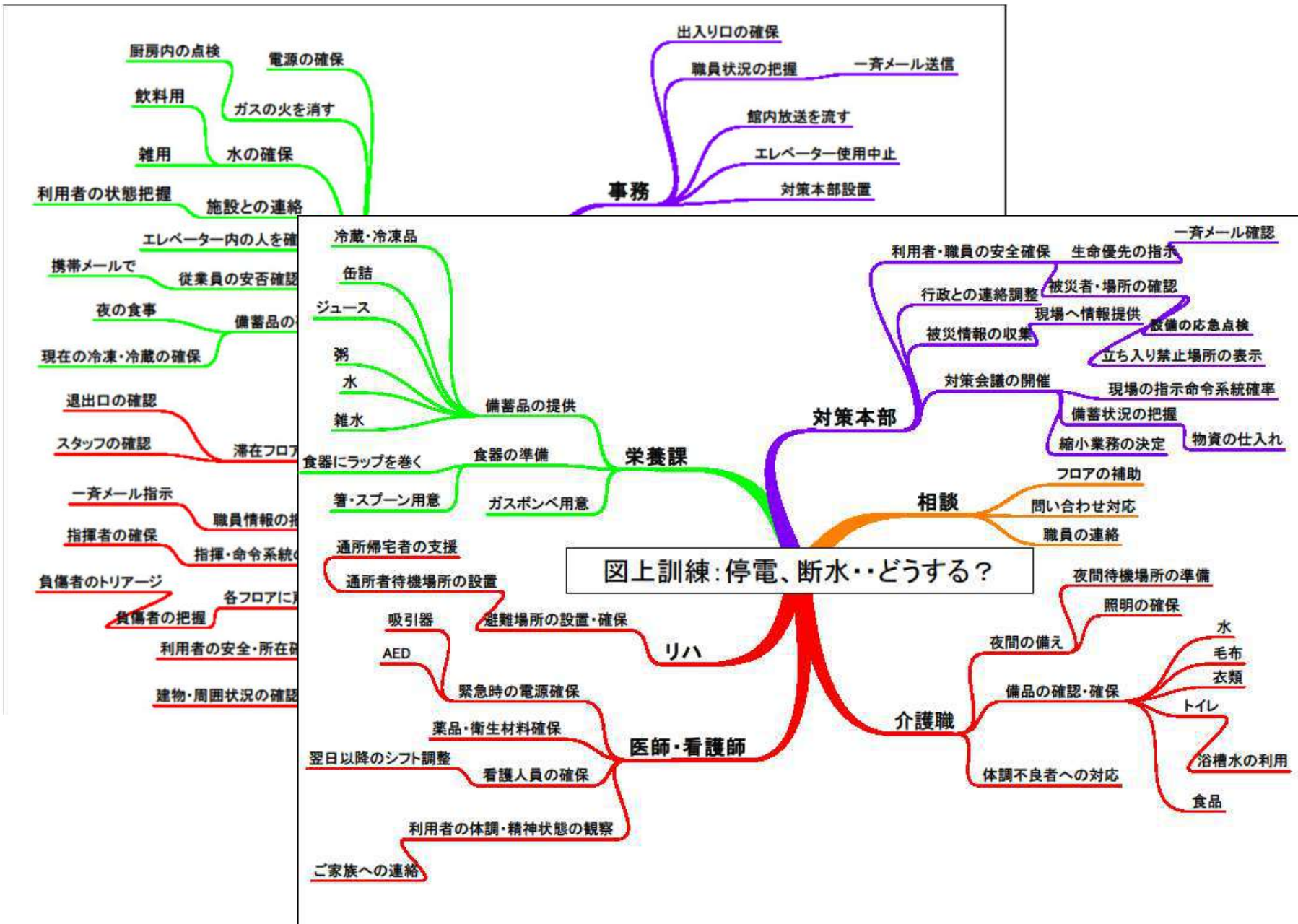
2) BIA(業務影響度)分析の実施

アンケート「あなたの部門でサービスを維持するために最も重要な業務機能は何ですか？」

職種	重要業務
医師	自家発電装置、 職員の確保
看護職員	職員の確保 、医療材料、安全な場所、利用者の日々の医療管理、トリアージ、急変時の対応
介護職員	食事、排泄、入浴、環境、 職員の確保 、ガソリン、建物
リハビリ職員	職員の確保 、利用者の移動方法の確認と周知
相談員・介護支援専門員	外部との連絡体制、利用者の情報収集、外部状況の確認、ボランティアの要請と受入れ
事務職員	データ、通信手段、患者・利用者への対応
訪問看護師	利用者データ、訪問用品、材料

参考: 日刊工業新聞社発行(昆 正和著) あなたが作るやさしいBCP

BCP構築のためのブレインストーミング



BIA(業務影響度)分析

ライフライン

停電	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター停止で移動・食事移送困難 照明量低下で転倒等リスク増大 吸引器等緊急機器使用不能でリスク増大 PC等情報管理機器使用不能でリスク増大 受水槽ポンプ停止で給水困難 空調停止で室温調整困難
ガス	<ul style="list-style-type: none"> 厨房ガス機器停止で食事提供困難
水	<ul style="list-style-type: none"> 調理用水不足で食事提供困難 手洗い入浴困難で衛生・感染症リスク増大 水洗トイレ使用困難

支援・生活

医療・薬	<ul style="list-style-type: none"> 他の医療機関との連携が困難 停電・断水により十分な検査や診察が不可 薬の不足
食事	<ul style="list-style-type: none"> 調理員不足、応援体制の確認要 食材不足
職員	<ul style="list-style-type: none"> 職員不足によりサービス提供が不十分に
在宅	<ul style="list-style-type: none"> 利用者データの閲覧不可

管理

参集	<ul style="list-style-type: none"> 参集に時間がかかり、シフトが困難
管理職	<ul style="list-style-type: none"> 管理職間の連携が困難
設備	<ul style="list-style-type: none"> 設備管理要員が不足
財務	<ul style="list-style-type: none"> オンライン決済化で現金不足
地域	<ul style="list-style-type: none"> 地域の被災者の受け入れ体制の不足



3) 事業継続の優先順位の決定

優先順位	重要業務	重要度の評価		対 象	目 標 復旧時期
		利用者への影響	職員への負担		
1	食事提供	高	高	入所利用者	当日中
2	診療・看護業務	高	高	入所利用者	当日中
3	介護業務	高	高	入所利用者	当日中
4	生活場所確保・提供	高	高	在宅利用者	翌日～3日
5	ライフライン設備稼働	高	中	施設全体	3日～7日
6	衛生環境維持	高	中	入所利用者	当日～翌日
7	外来診療業務	中	中	外来患者	翌日～3日

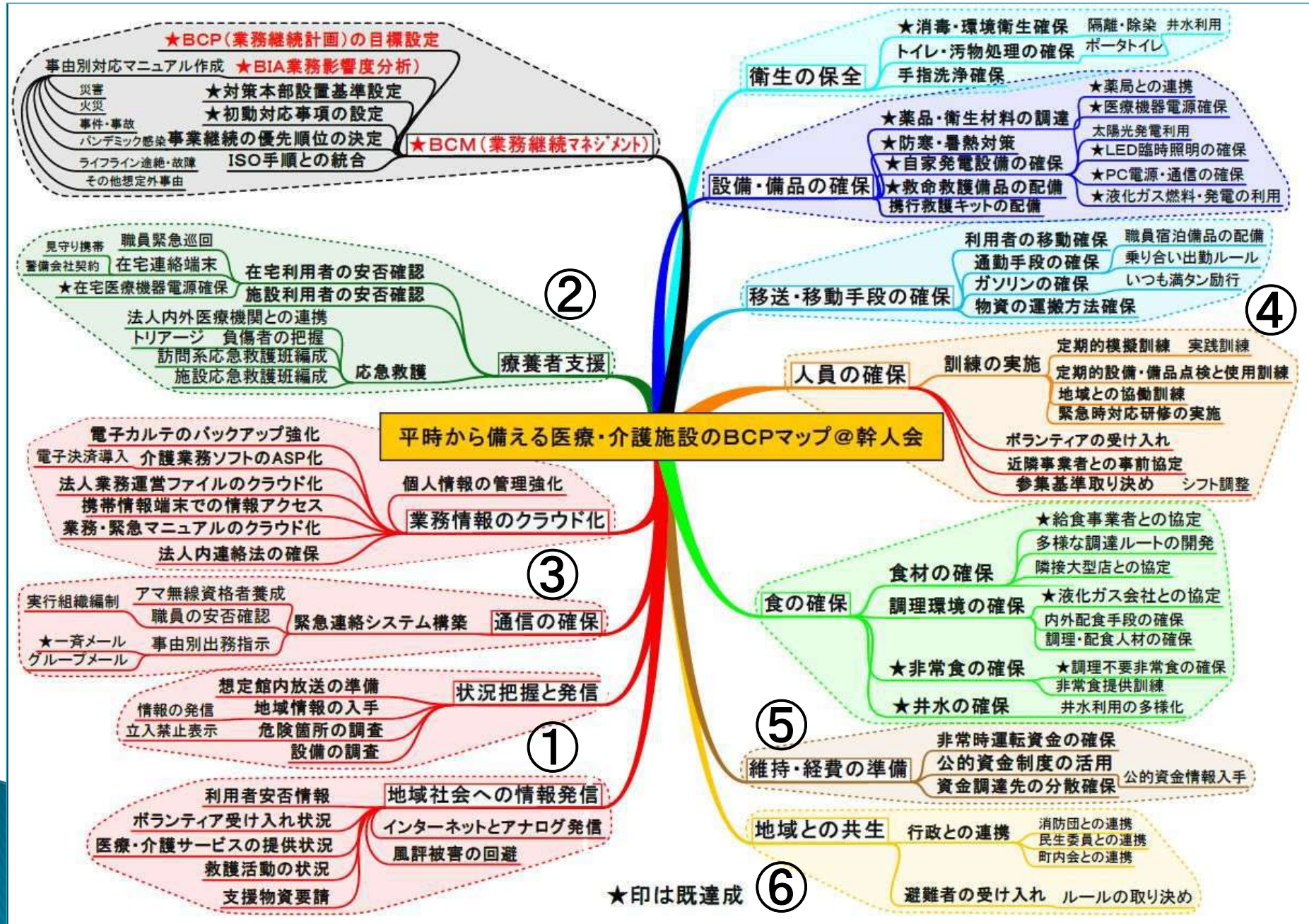
東京都社会福祉協議会発行(執筆・齊藤實)高齢者施設におけるBCP策定ガイドラインより引用、加筆

4) 初動対応、普段から備える事項の明確化

基本的対応事項	発災当日				発災翌日
	直後				
自分の安全確保	→				→
職員間の安否確認	→				→
利用者の安全確保	→				→
館内放送	→				→
負傷者への対応	→				→
設備の応急点検	→				→
施設内外の応急点検	→				→
立ち入り禁止場所の表示	→				→
ライフラインの確認	→				→
備蓄品使用	→				→
ケア方針	→				→
当面の職員ローテーション	→				→
医療体制の確立	→				→
災害対策本部との連携	→				→
家族への情報提供	→				→

東京都社会福祉協議会発行(執筆・斉藤實)高齢者施設におけるBCP策定ガイドラインより引用、加筆

平時から備える医療・介護施設のBCP骨格



結論・考察

▶ 9月28日BCP訓練の様子



非常放送と職員参集



負傷した療養者を救護所へ搬送



非常食の運搬及び配膳



幹人会クラウドシステム概念図

施設と在宅の障壁を取り去り、地域をフロアと見立て、多職種が利用者や事業運営の情報を共有し、一元的なサービス提供を行うとともに、BCP(緊急時事業継続計画)に於いても骨格となる情報共有システムとして想定

SoftBank
ソフトバンクテレコム株式会社
ホワイトオフィス

福生地区

在宅医療・居宅介護支援事業所・通所リハ

※法整備が整えば電子カルテシステムもクラウド化をめざす

ASP型介護記録支援システム



外出先でもiPhoneを内線通話や緊急メール受信、利用者情報の参照や入力、決済等、多用途端末として活用する



全ての事業所情報を一元管理し、iPhoneやiPad端末で、施設内外を問わず、情報の閲覧と真証性ある記録を可能とし、データが堅固なセキュリティーの下バックアップされることを想定

要望に応じて、訪問先でも利用料金の決済が可能

ALSY



瑞穂地区

居宅介護支援事業所

老健
(入所・通所)



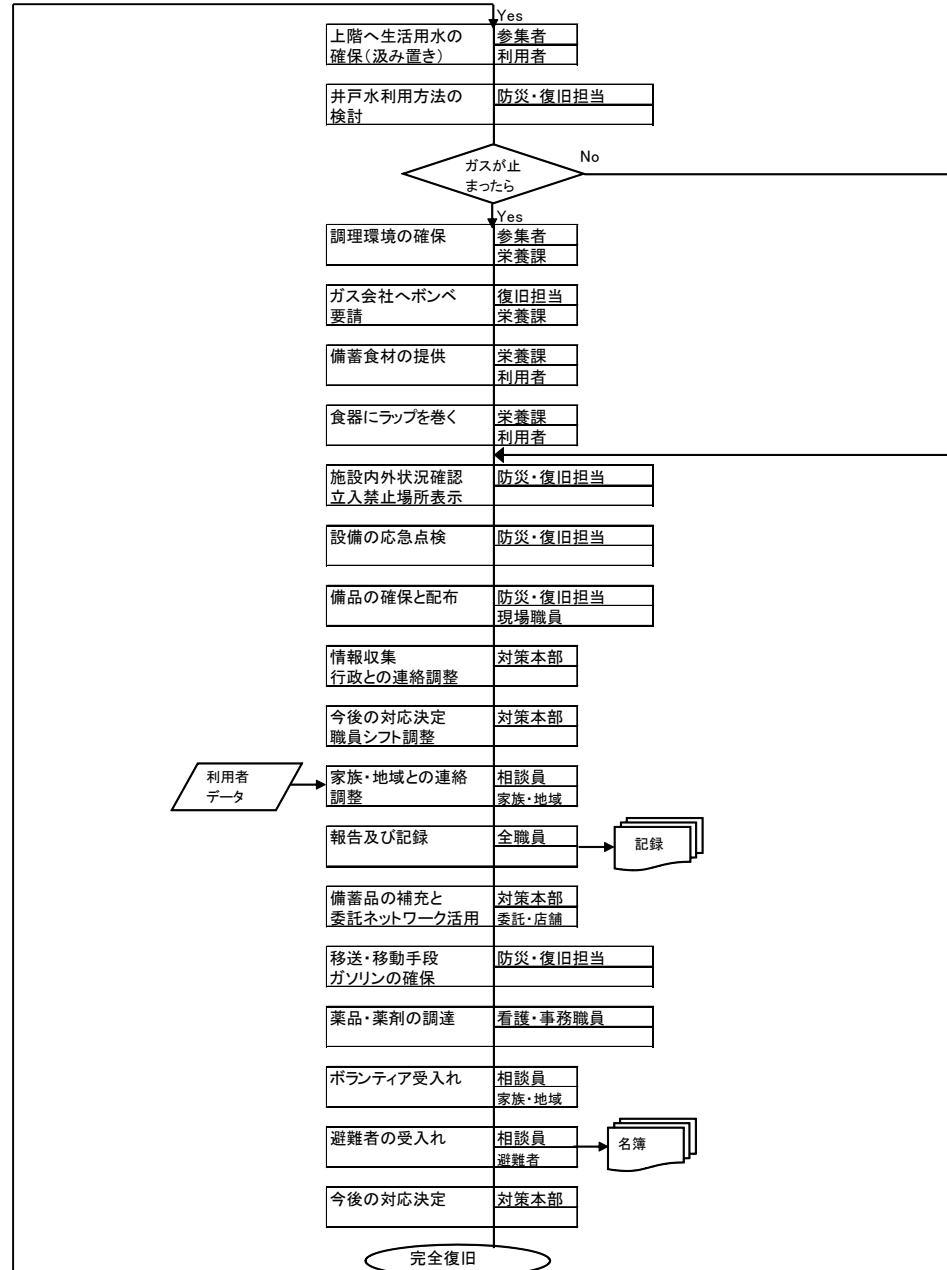
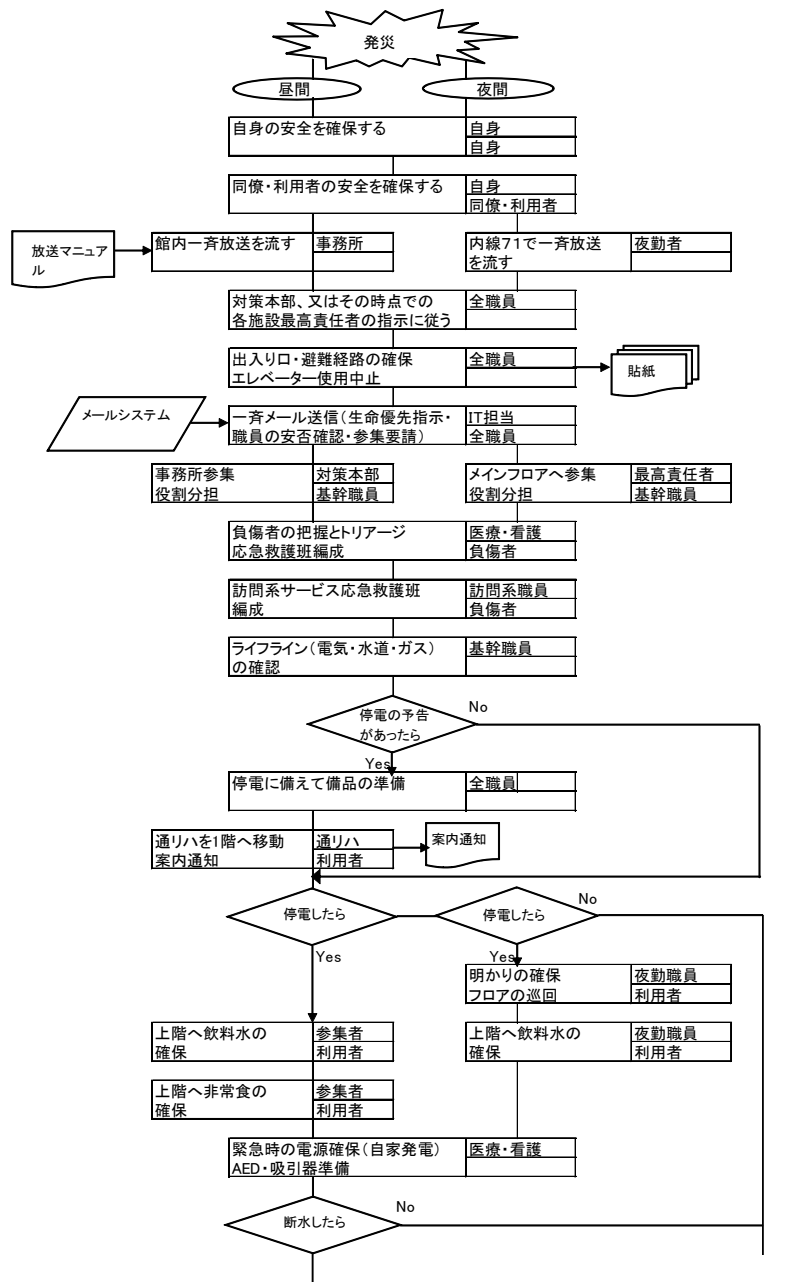
独居の方等の緊急時のナースコールがわりに、ボタン一つでステーションへ通報

みまもりケータイ

訪問系ステーション
(看護・リハ・介護)



BCP初動マニュアルフローチャート



参考文献



東京都社会福祉協議会発行：
高齢者施設におけるBCP策定ガイドライン

日刊協業新聞社発行：
あなたが作るやさしいBCP【第2版】

日刊協業新聞社発行：
パンデミックBCP構築ガイドブック

御清聴ありがとうございました。